



心身ともに健やかな成長を

問 地域の皆さんの生活を守る。いかに多古町に住み続けたいのか。言葉が無かったら、言えなかったら何のための町長なんですか

答 誠意を持って町といたしましても対応する旨は申し上げております

住民の皆様への気持ちに寄り添った対応を

問 複合エリアの説明会の中で、主な質問は。

空港地域振興室長 説明会は4回開催しております。

どのような形で複合エリアを計画していくのか。エリア内にお住いの方々の移転先、買取にかかる税金はどうなるか。また、本事業の投資額、町の税収見込みといったものでした。



建設中のグッドマン 現地事務所

問 町長からの意思表示、言葉があるべき。しっかりと地域の皆さんの生活を守る。これからも多古町に住み続けてほしい。地域のお住まいの皆様に対して、その気持ちの意思をはっきりと言葉にするべきではないか。

町長 町民ひとりひとりのそこにお住まいの地権者の皆様方の意向に沿って誠意を持って対応する旨は申し上げております。この場でも繰り返しその旨は申し上げさせていただきます。

地域の足、公共交通の見直しを

問 デマンドタクシーの利用状況は。予約システムは。

町長 令和5年度の利用者は、延べ1万691人と前年度と比較して1429人増加しました。ウェブ予約システムの利用状況は全体の2.3%で、特に若年層を中心にその利用が進んでいます。

問 長時間待たされたり予約が取れないというような悲痛な声も届いている。ご高齢者の免許返納についても考えなくてはと思うが町の考えは。

町長 高齢者の免許返納については個人のお考え、ご家庭の事情がありますので答弁は控えさせていただきます。

より良い療育のための拡充を

答 切れ目のない支援体制を図っています

早期の発見・療育を

問 児童発達支援事業の確立、療育支援の充実のため、町簡易マザーズホームのさらなる拡充が必要ですか。

町長 町では国に先んじて令和2年度から5歳児健診を実施し、療育の必要なお子さんの早期発見と発達特性に応じた支援に取り組んでいます。現在、平日4日開所、保護者と一緒に通所する形をとって

り、3人の保育士が運営にあたっています。令和5年度、開所190日、延べ800人利用、1日平均4.2人の実績です。

問 神経発達症(発達障害)は、育て方に問題があるわけではなく、脳の機能の問題です。現在日本では、5歳児の約3.2%が自閉スペクトラム症と診断され、幼いうちのトレーニング・治療を受けることで特性が軽減されます。専門家によれば療育が効果的なのは、遅くとも小学校低学年までにと強調されており、きちんとした療育に取り組むことで子どもの成長、発達に大きな影響が生じることから、マザーズの役割は非常に大きいと考えます。町の乳幼児健診事業の段階的な対応で、早期発見・早期療育につながる取り組み、特に1歳6カ月健診の重点的な対応が必要と考えますが、町の考えを伺います。

保健福祉課長

乳幼児健診後期に小児神経医、1歳6カ月・3歳児に心理士、5歳児では小児神経医と心理士等専門職のかかりがあります。早期療育の点では、お子さんの成長とともに見て

佐藤 利治 議員



問 交付金を活用した交通システム導入の考えは。

企画政策課長 関係各所と協議を重ねながら、多古町により合った公共交通を考えていく必要があると考えております。

組織活性化のために人事の循環を

問 人員配置を含めて各課の現状はどうなっているか。

総務課長 専門職をはじめ、機構改革や各課業務量に応じて職員の増を図ってきました。現時点で人手不足の課はありません。

問 定期的な人事異動ができていますか。

町長 定期的な人事異動を行うとともに主要事業推進のための人材配置や時代に即応した組織体制を加味しながら編成に取り組んでいます。

石渡 悦子 議員



いくところがあり、今後の経過観察が必要な場合は、様々な事業を通じて保健師とのかかりや、ご家庭の状況がわかるような関係性の構築が重要と考えます。



療育支援環境の多角的な検討を

問 先進地である富里市児童発達支援事業所「すまいる」の視察をさせていただきます。県の児童発達支援事業所、保育所等訪問支

増加する外国人労働者への対応を

問 本町における外国人の税金納付状況は。

町長 町民税の滞納割合は一般町民と比較し高い状況にあります。このままの状況を改善する事なく滞納額が増加した場合、自主財源確保にも影響が出る可能性も考えられます。言語の壁、理解不足習慣など外国人特有の事情に留意し改善に努めてまいります。

問 小さな町に外国人が目立つ、増えたと不安に思う町民の方もおりますので、窓口の対応もコミュニケーションを含めて慎重に対応していきたいと思っております。

税務課長 言語、コミュニケーションという部分が課題と認識しています。雇い入れ事業者の方に協力をいただくなど、基本的な対応を行った上で、徴収率向上のため対策を研究していきたいと考えております。

その他の質問
●子育て支援策について



周辺の道路整備が待たれるすくすくテラス多古

援事業所の指定を受け、特化していることは、お子さん一人ひとりに合わせた「個別支援計画(サポートファイル)」を作成し、その計画に基づいた療育支援、個別指導を行っています。私どもも、マジックミラーの部屋から個別指導の様子を観察しました。サポートファイルは重要で、保護者との共通理解、保育所などの連携、また、大人になってからの様々な支援にもつながるものです。一人で頑張らなくても大丈夫、心配なこと、不安なことは何でも相談してね」とのメッセージを含む保護者にとって具体的な子育ての柱・支えです。本町のマザーズホームの拡充にあたっては、サポートファイルの活用や、より良い療育のためのスペースの確保、施設整備、保育士の待遇・身分保障などに取り組む必要がありますが、町の考えは。

保健福祉課長

保護者の相談体制については、日頃からの保健師による相談対応に加え、言語相談や発達相談、小児神経医による相談も行っています。また、心理士への相談や療育支援コーディネートを外注委託しており、切れ目のない支援体制の構築を図っています。施設設備の面での課題は認識しております。短期ではなかなか難しいと考えており、多角的な面から中長期的に考えていく必要があります。